

第23回 (令和6年度) シニア地域活動入門講座(第5回)

日時: 令和6年11月13日(水) 13:00 ~ 15:15

場所: 日立シビックセンター科学館・天球劇場

内容: 日立シビックセンター科学館及び天球劇場(プラネタリウム)見学

○ 施設見学

- 日立シビックセンター科学館
- 天球劇場(プラネタリウム) starry music ~オーケストラで奏でる宇宙~

当初計画は、わが街日立の魅力再発見(市内巡り)講座で日鉱記念館、共楽館、日立オリジンパーク見学を予定、日立福祉バスの都合により急遽変更になった。

施設見学の概要

日立シビックセンター科学館は平成2年12月に開館し、令和2年4月から約1年間の休館を経て、8~9階の展示フロアを一新し、新しい愛称「サクリエ」という名で新たにオープンしました。9階天球劇場(プラネタリウム)は美しい星空と壮大な宇宙を体感でき季節の星空を見ることができる。また、可視化した宇宙を飛行して様々な天体を巡ったり、迫力のドーム映像を光学式プラネタリウム投影機とデジタル式プラネタリウムシステムにより上映しています。科学をもっと身近に感じてもらえるような、「日常性」に着目した約100種類の科学体験コンテンツを通して、考える力を育むことができる科学館になっています。「科学」を通じて、あらゆる世代が日常的に利用できる憩いの場となりました。

「科学」を日立の新しい文化にすることを目指し、科学文化を創造する場とすること。「科学」という親しみが薄いテーマをもっと身近に感じてもらえるような科学館とすること。科学の間口を広げるために「日常から科学を探る」をテーマに、最も身近な「わたし」から「いえ」「まち」「ちきゅう」そして壮大な「うちゅう」へと、スケールを広げながら日常に潜む科学に出会うことができる展示構成としました。一方的に答えを提示するのではなく、試行錯誤を繰り返す中で、自ら疑問を持ち、「考える力」を育むことができるように、何度もチャレンジしたくなる体験や、可変性のある体験展示をメインに構成しました。

※:サクリエ:愛称募集を行い、応募総数 469 件の中から新たに愛称「サクリエ」が決定しました。サイエンス(科学)、クリエイション(創造)、アトリエ(工房)に加え、市の花である桜を想起させる造語です。「(花が)咲く」とも聞こえる響きは、話に花が咲き、盛り上がり、人々が集う賑やかな場所への想いが込められています。



科学館での集合写真



科学館での見学の様子